

環境保全を通して出会えた
自然の素晴らしさと仲間たち
みどりのHATS



みどりのHATS事務局
東京都町田市原町田4-10-19-403(中里方)
TEL&FAX 042-724-2342 mimi.mar.lovely@tj9.so-net.ne.jp

町田市には、市が開催する生涯学習の講座事業「まちだ市民大学HATS」がある。科目は多岐にわたるが、そのうち現在の「多摩丘陵の自然入門」と「町田の環境・参加体験講座」の受講修了生たちで組織された市民団体が「みどりのHATS」だ。1993年にスタートし、今では市の公益的市民活動団体に登録して、金森山特別緑地保全地区の保全、管理、環境美化活動も行っている。

指定された。翌年から「みどりのHATS」による保全作業のおかげで市民が散歩したり、子どもが遊ぶ良好な環境が維持されている。

作 業に参加するメンバーは毎回20〜25名ほどだが、決して楽な作業ではない。新緑の頃は爽やかで気持ちがいいが、やぶ蚊が大量発生する猛暑の夏、極寒の冬はとても大変だ。

「同窓生が集まって組織された団体は珍しいんです。25年近くになりますが、毎年少しずつ増え、そして辞める人も少なく今でも120名近くの会員がいます。自分の出来る範囲で参加できるのいいのかもしれませんが、作業は決して楽ではありませんが、そこで触

れあえる自然の素晴らしさや仲間との交流が楽しくて続いているんだと思います。」そう語るのは代表の中里静江さん。作業を終えた後は草花観察や、虫や鳥など自然生態を観察する時間を設け、会員の親睦を図っている。峯山でしか出会えない感動体験にこれまで何度も出会ってきた。

活 動は緑地作業のほか、年4回のハイキング、境川クリーンアップ作戦、そして月1回の定例会がある。会員も金森付近の市民は僅か、町田市全域からやってくるのだ。こうした会員の多くは元々、環境問題や自然保全に興味があり、定年後や子育てが終わり自由になる時間が増え、市民大学

HATSの講座に通い始めたことがきっかけとなり、そこで学んだ知識が地域活動という方向に大きく膨らんだもの。彼らの献身的な活動が評価され、昨年の12月には、東京都社会福祉協議会会長賞も受賞した。

「冬 は辛いけど、峯山から見える雪化粧した富士山は本当に美しいの。」そう目を輝かせる成田紀子さんも、峯山で出会った自然の美しさに魅せられた一人。自然とのふれあい、仲間たちとの交流がかけがえの無いものとなっていると話すが、会員たちこそが、自身の身体や心の健康といった自然からの豊かな恩恵を受けているのかもしれない。



蛹からふ化する神秘的な瞬間に出会えることも

金

森山特別緑地保全地区は約1800坪の雑木林で、市内9か所の緑地保全地区の一つ。クヌギやコナラが生い茂り、この自然を将来にわたり保全していくため、2004年に特別緑地保全地区に



A. 作業後の草花観察は毎回、新たな発見がある B. 代表の中里さん C. 今年の4月に初めて観察された「ウラシマソウ」 D. イーゼルで林の中のミニギャラリを演出 E. 枯木の撤去や草刈りなどの作業は3時間ほど行う F. 作業中にみつけた可憐な花々にも癒される女性メンバー